

gooddays

Vol. 0

around KANDA NISHIKI - CHO

New Culture & Alternative Lifestyle

2015 SPRING ISSUE

PRICE 0 YEN



“gooddays support area”



around
KANDA NISHIKI-CHO

【神田錦町界隈】

御茶ノ水と大手町に挟まれたこのエリアは、歴史ある建物、企業、老舗飲食店などが数多く存在する一方で、次世代のビジネス拠点や新しいカルチャーを吸い寄せる不思議な引力を持つ。今後の発展が楽しみな東京随一のエリアだ。



「おはようございます。ごひいきにしてくださって、ありがとうございます」

初めて寄ったにも関わらず、そう声をかけてくれる普懐かしい商店のおばあちゃん。聞けば、関東大震災前から続くお店なんだそう。常連客であろうか、出勤前のサラリーマンがせかせかとタバコとパンを買って店を出て行く。

千代田通りの交差点にあるテラスカフェでは、眩しい陽射しを浴びながら、若い女性達がフルーツをたっぷりのせたグラノーラを食べている。皇居でのランニングの後であろうか、運動着姿もちらほらと。

神保町と大手町のちょうど境目、ここ神田錦町周辺の朝の風景を眺めていると、この街独自のライフスタイルが芽生え始めていることに気づかされる。

ここで働く人たちは、職場と自宅を往復するだけでなく、そこにある自然や歴史と程よく調和しながら、日常を楽しんでいる。

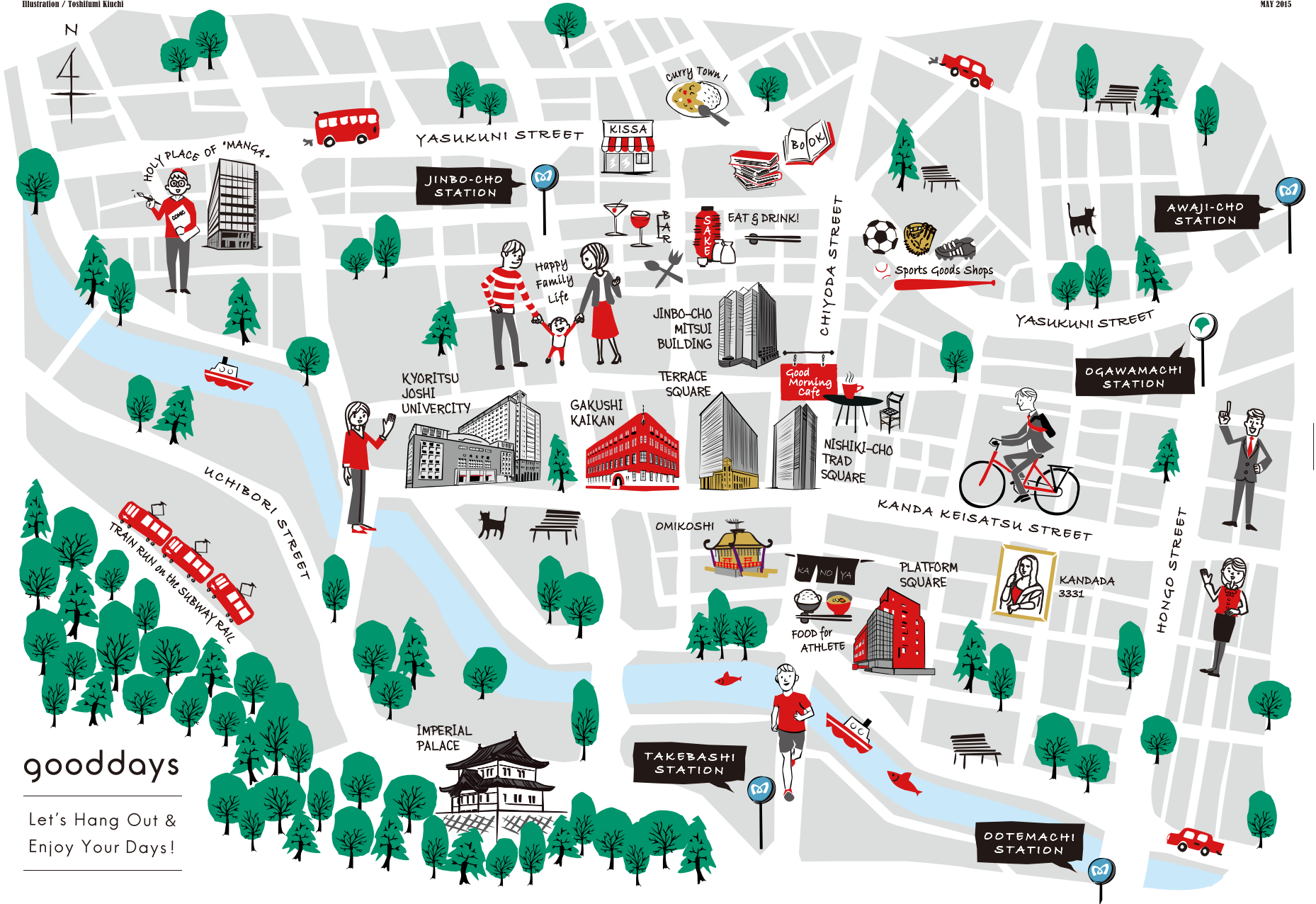
時には、食。時には、遊び。時には、スポーツ。時には、アート。街に用意されている多様なメニューを、自分好みに組み合わせながら。

今後も、次々と個性溢れる店や若い才能がこの街に集まっていくという。垣根を越えた新しいコミュニティも少しずつ生まれているそうだ。

誰しもが豊かな時間を感じ得る、無限の可能性を秘めた神田錦町エリア。この街ならではの働き方や日々の楽しみ方を、街の変化に寄り添いながら、発信していきたい。

gooddays

2015年7月創刊(年4回発行予定)



gooddays

Let's Hang Out & Enjoy Your Days!

GOOD DAYS STORY
Vol.
01

Message from
Hirohisa Sato

僕自身、この街が大好きで、この街で遊び、
ここで暮らす人たちと一緒に
なって楽しみたいと思っています

1階に、東京都内を中心に展開している「グッドモーニングカフェ 錦町」をオープンすることができました。さらに別のビルにもお声がけいただいて、「鹿屋アスリート食堂」を続けてオープン。これからさらに数店舗、神田錦町エリアにお店を出す予定です。

人が街で「遊ぶ」のは「交流する」ということ。「交流の場」として、カフェやレストランが良い役割を果たすと思っています。昔の商店街は、1階にお店があって、2階が住居になっていて、日常の中に仕事と生活の両方がありました。最近では、オンとオフをきっちり分ける人が多いですが、そうすると、特にオフィスが密集しているエリアは夜に人がなくなってしまいます。それでは面白くないと思うんです。新しくできた「テラススクエア」にオープンするパーでは、夜の錦町を盛り上げる企画を色々と考えています。僕自身、この街が大好きで、この街で遊び、ここで暮らす人たちと一緒に楽しくなりたいと思っています。街を歩いていると、大通りの裏側の細い路地に、雰囲気の良いカフェを見つけたりするとうれしくなってしまう。「変わらない」というのは「深まる」ことでもあります。神田錦町に作ったお店も、10年後、20年後、さらにその先も残り続けるものになると良いですね。情緒ある風景と新しいものがゆるやかに入り交じり、街の空気が熟成していくような、そんな変化ができることを期待しています。

TEXT・Yuki Motomura / PHOTO・Koji Tauchiya

佐藤裕久 Hirohisa Sato

株式会社バルニバービ 代表取締役 CEO

実家の菓子屋の手伝いを通じ、幼少の頃から「商い」を身近に感じながら育つ。

地域に根差した店舗作りを展開する傍ら、商業施設のプロデュースや、起業・経営についての講演会なども行い、幅広く活動する。現在、東京・大阪をはじめ全国にレストランやカフェ、スイーツショップなどを約50店舗展開している。

著書：「一杯のカフェの力を信じますか？」(河出書房新社)「日本一カフェで街を変える男」(グラフィック社)

関西出身の僕にとって、千代田区をはじめとした東京の東側は、実はあまり馴染みがありませんでした。数年前、文京区小石川にお店を出すことになり、打ち合わせに行く道の途中にある神保町がすごく気になって、車をとめて歩き回ったところ、すごく面白くて。僕は本をよく読むので、古書店巡りが大好きなんです。それに、バンドをやっているので楽器店が多いのもうれしい。自分の趣味と街の雰囲気がついたりはまると、そこで何時間でも過ごしてしまう(笑)。他にも、半ちゃんラーメン(半チャーハンと半ラーメン)発祥のお店があったり、生わかめが食べられる昔ながらの定食屋さんがあったり、色々なお店があるのがいいなあと。それまで西麻布や青山のような、流行りのお店があって、若い人たちがたくさん集まるエネルギーな街ばかりを見ていたけど、東京の本当の面白さはこのあたりにありそうだ、と思ったんです。

流行りのものを否定する気はないのですが、僕は昔から変わらないコンサティブなものに惹かれます。街作りしているんなやり方があるけど、例えばお店を出すにしても、長い歴史の中で刻み込まれたその街ならではの空気感を完全に消し去ることはしたくないんです。神田錦町のエリアは、繁華街から少し離れていることもあり、物事を進めるのに時間をかけてじっくり取り組めるところだと思います。何かやりたいなあ、と思っていたところ、ご縁があって2014年3月に「錦町トラッドスクエア」の

GOOD DAYS STORY
Vol.
02

Message from
Masato Nakamura

地域の人たちとの関係性の中で、
街自体が創造的になっていくプロセスを大事にしたい

神田エリアを中心に活動を始めたのは、今から17年前になります。秋葉原の電気街を舞台に大きなビデオインスタレーションを企画・運営するために、事務所を借りたのが始まりです。その後、2010年外神田に旧練成中学校を利用したアートセンター「3331 Arts Chiyoda」をオープン、2012年からは神田を舞台としたアートプロジェクト「TRANS ARTS TOKYO」を毎年秋に開催しています。最初の年には、旧東京電機大学の17階建てのビルをアーティストに解放し、全フロアをアートで埋め尽くし、参加者の熱気が周囲をどんどん巻き込むエポックとなり、以降様々な人々との関わりを通じて発展を続けています。

神田錦町は、最近になって住居も少しずつ増え、移り住む人も増えはじめています。働くところと住むところが近ければ、ワークライフバランスがとれた次の都市生活ができると思います。私自身も、神田錦町の「KANDADA 3331」をベースに働き、自宅はすぐ近くにありますが、この辺りは世界一の古本屋街があって、スポーツ用品店が集積し、楽器店もあり、飲食店も多い、なんでもあるエリアなんです。しばらく住んでみると、粋な神田っ子の人たちとも少しずつ交流できるようになって楽しくなります。そういうつながりの中で、「こういうことをやったら面白いな」と思ったことが、周囲の数人を動かし、次の大人数につながっていく。地域の人々との関係性の中で、街自体が創造的になっていくプロセスを大事にしたいと思っています。地道な活動ですが、少しずつ変わってきているな、という実感があります。

現在は、「五十一八（ごとういっぱち）プロジェクト」に取り組んでいます。神田警察署通りの北側に並行につづく「一八通り」と「五十通り」にクリエイターの活動拠点と住む場所を集めていきます。神田錦町の「テラススクエア」の近くでは、通りに面したビルをリノベーションして、アーティスト・イン・レジデンスと東京藝大のサテライトスタジオを作りました。また、別のビルにはデザイン事務所と撮影スタジオが入る予定です。東京電機大学が移転した時、2万人近くの人がこの街からいなくなり、周りの飲食店も打撃を受けました。オフィスビルや大きな商業施設を作ることも重要ですが、それだけでは街のバランスが悪いので、すでにある建物をリノベーションして、情報の発信源としてのクリエイターを呼び込み新たなコミュニケーションを誘発していく。そうすることで街が活気づくだけでなく、世界からも注目される特異なエリアができるのでは、と期待しています。

また、東京電機大学跡地には、アートと産業、コミュニティの融合を実現する全く新しいコミュニティ・アートセンターを計画中です。2020年の東京を牽引するのは、この場所だと思っています。継続中の「TRANS ARTS TOKYO」をさらに発展させ、2020年には世界から人々を呼び込む国際的かつ地域に根ざしたアートと産業、コミュニティが融合する国際文化芸術フェスティバル、東京ビエンナーレへの開催へとつなげていければと思っています。

中村政人 Masato Nakamura

アーティスト / 東京藝術大学教授
一般社団法人非常利芸術活動団体コマンドN代表理事。1963年秋田県大館市生まれ。「社会」や「教育」における美術の在り方を問いかけ、地域に活動の場としくみを生み出す実践を重ねている。第49回ヴェネツィア・ビエンナーレ（2002年）日本代表。1998年よりアーティスト・イニシアティブ・コマンドNを主宰。2005年、アートスペース「KANDADA」（神田）での活動を経て、2010年に「3331 Arts Chiyoda」を立ち上げ、統括ディレクターを務める。2010年度芸術選奨文部科学大臣新人賞（芸術振興部門）受賞。



LANDMARK

Terrace Square

テラススクエア・住所：東京都千代田区神田錦町 3-22-24



豊かな緑に囲まれた、“錦町的” ライフスタイルのシンボル

いよいよオープンを迎えた「テラススクエア」は、地上17階・地下2階建てで、商業施設(1~2階)、カンファレンスゾーン(3階)、オフィスフロア(4~17階)からなる複合ビルだ。徒歩圏内で、5駅8路線の利用が可能な好立地にあり、東京の中心部に位置しながらも豊かな緑が残された、美しい景観を保ったこのエリアで、「次世代のワークスタイル」を提案する。

1~2階の商業ゾーンには、カフェやレストラン・バルなど、計10店舗が出店。建物の足元には生物多様性や日本の樹木を取り入れた1,000㎡超の広場が広がり、各フロアに設けられたテラス席から、豊かな緑を臨むことができる。ビジネスだけでなく、地域のイベントにも利用できる開放的な空間で、神田錦町の交流の場としても機能する。

テラススクエア
住所：東京都千代田区神田錦町 3-22-24

TEXT・Yuki Motomura
PHOTO・Koji Teuchiya

TERRACE SQUARE Shop Information

ファミリーマート
コンビニエンスストア
忙しいビジネスパーソンに「ひとときのリラクゼーションを与える」空間を目指しました。
tel.03-3518-2046



鉄板焼バー Cava?
鉄板焼バー
丸の内にあった「サンパチバー Cava?」がお酒、料理、音楽へのこだわりをさらに進化させ復活します。
tel.03-3293-0380



HASSO CAFFE with PRONTO
カフェ＆バー
博覧堂とプロントの日本初のコラボ店舗。イベント企画も随時実施予定です。
tel.03-6273-7775

神保町 青二
日本酒バル
全国の日本酒が日替わりで60種類以上。均一価格 & 少量をシャンパングラスにてご提供。
tel.03-5244-5244



メナムのほとり
タイ料理
本場タイのタイ料理をお届け。リゾート感を味わいながら本場と変わらぬ味を楽しめます。
tel.03-5577-4494

クラフトビアマーケット
ビアバー
全国の醸生クラフトビールが30種類、480円均一で楽しめる。開放的なテラス席をご用意。
tel.03-5244-5288



GARB pinto
レストラン
“気軽に自分のスタイルで食とお酒を楽しむ”がコンセプト。シガーやセルトを楽しむサロンも。
tel.03-3233-0350



ナンクルナイさきばい
九州沖縄料理
ランチはリーズナブルかつボリューム満点。又は九州・沖縄の地酒や料理が楽しめます。
tel.03-5244-5303

赤坂飯店
中国料理
創業60年の本格中国料理店。老練の味をカジュアルに、おいしく、リーズナブルに。
tel.03-3291-8900



蕎麦 酔処 銀栗米庵
蕎麦居酒屋
大塚の隠れ名店に甘酢・煮たせしれ蕎麦のせた蕎麦を、ラー油をきかせたつけ汁で。
tel.03-5244-5222

NEW OPEN SHOP INFO

GLITCH COFFEE&ROASTERS

ぐりっち コーヒー あんどろーす たーず

日本から世界へ、 コーヒーカルチャーを発信

2015年4月10日、「錦町トラッドスクエア」の目の前に「GLITCH COFFEE & ROASTERS」がオープン。オーナーの鈴木清和氏は、バリスタ世界チャンピオンのカフェ「Paul Bassett (ポール・バセット)」でチーフバリスタ兼ヘッドロスターを務めた実力の持ち主。一杯のコーヒーにとことんクオリティを追求し、ここ神田錦町から世界へコーヒーカルチャーを発信したいと語る。間もなく焙煎機が導入されるので、今後の展開に期待が高まる。



Shop Information



GLITCH COFFEE & ROASTERS

住所：東京都千代田区神田錦町 3-16 香村ビル1F
時間：平日 7:00~20:00
土日祝日 9:00~19:00



錦町 如月 和食

にしきちよう きさきざき

日本文化をこよなく愛する 女将がいる粋な酒場

6月中旬にオープン予定の「錦町 如月」は、料理・お酒・器や和小物の物販はもちろんだが、女将に注目したい。如月まみさんは、着物コーディネーター・日本酒好き酒師として活躍する傍ら、三味線や小唄のライブを開催するなど、精力的に活動する“日本文化の伝道師”。そんな如月さんが、旬の食材を使った料理、そしてスタッフの着物の着こなしから器やお酒のセレクトに至るまで、とことんこだわり抜いたお店になるそうだ。



Shop Information



如月まみ

錦町 如月
住所：東京都千代田区神田錦町 2-3-10
6月15日開店予定

7月号から「錦町周辺エリアの魅力」を紹介する如月さんのコラムがスタート(予定)。そちらもお楽しみに!



gooddays

クワダイズ 2015.05.13 発行 / 発行・編集：クワドモーニングズ株式会社 水谷 優 www.goodmornings.co.jp



04 NIPPON

